

ませんでした。しかし、たとえば曾我ひとみさんは、北朝鮮が拉致を認め日本に帰還を果たすまで拉致被害者として政府の認定を受けていませんでした。政府認定の有無を理由に総理面会ができないというのはあまりにも理不尽です。立法府の意思として、是非実現させたいと思います。

いずれにしても、拉致被害者の親世代でご存命なのが横田早紀恵さん唯お一人となってしまう中、一刻の猶予もないとの切迫感をもって、国会として審議や調査を促進して行く決意です。

安全保障と未来保障に全力！

今国会では、他にも選挙中に公約した二つの課題に精力的に取り組んで参ります。



自民党安全保障調査会副会長として、高市政権の安保・外交を積極的に発信

第一は、**安保3文書の改定作業**です。

引き続き、党の安全保障調査会副会長として4月中を目途に政府へ提出する党の提言の策定に全力を挙げて参ります。

改定のポイントはいくつもありますが、その前提として、①現行3文書の策定から3年余りで激変した**安全保障環境を正確に分析**すること、②現行3文書で定めた**防衛努力の進捗状況を厳密に検証**すること、③ウクライナ戦争等を通じて得られた「**新しい戦い方**」について

詳細に研究すること、などに早急に着手すべきです。

なお、同3文書に加えて、高市政権では、**国家情報（インテリジェンス）戦略と国防産業戦略**の2文書も今年中に策定することになっており、その作業も同時並行で行います。

とくに、国防産業戦略に関わる課題として、かねてから議論を続けてきた「防衛装備移転3原則に係る運用指針の見直し(いわゆる「5類型」の撤廃)」作業を今月中にも終え、与党として日本維新の会の提言とすりあわせて政府に提案します。

もう一つの課題は、「こども達の未来保障」として、昨年来、支援団体や専門家の皆さんと議論を重ねてきた「**子育てケアマネジャー**」**制度の創設に向けた取り組み**です。

フィンランドのネウボラ制度(※)を参考にしつつ、我が国の高齢者に対する介護保険制度で活躍するケアマネさんのような役割を、産後うつやワンオペ育児に苦しむ**子育て家庭に寄り添い「伴走型」で支援する仕組み**を全国につくり上げたいと思っています。

まずは、超党派の同志の皆さんと議連を立ち上げ、制度の骨格や費用対効果などについての検討を加速化したいと思います。

※ネウボラはフィンランド語で「助言の場」を意味します。母親の妊娠期からこどもの小学校入学まで、担当の保健師が子育てに関するあらゆる相談にワンストップで応じる無償のサービスです。

国政にも地元にも全力！

このような2つの重点政策課題を念頭に、150日間の特別国会に臨む所存ですが、私の地元である府中市、多摩市、稲城市の課題解決についても、地域の仲間の皆さんと連携しつつ精力的に取り組んで参ります。

すべては、「**未来に誇れる日本**」のために。

衆議院議員 **長島昭久** 拝

